

令和5年度 授業改善推進プラン

【英語】

学年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を暗唱して、発表することはできるが、学習した文法及び語句の知識が定着していない生徒がいる。 ・ 話すこと（やり取り）では積極的に活動に参加する生徒が多い中、基本的な表現を活用して自分のことを伝えることが課題な生徒がいる。 	<p>【短期】 単元で扱う言語材料は、毎回の授業で繰り返し練習を行い知識の定着を図る。</p> <p>【中・長期】 学習した語句や文法の活用を意識した言語活動を通して、場面に応じて語句や文法を使い分けていく練習を行い、表現力の向上を図る。</p>
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な語句の知識、文法の知識が十分に定着していない生徒がいる。 ・ 基本的な英語のやり取りを聞く力はある程度定着しているが、読む、書く、話す力に課題がみられる生徒が多い。 	<p>【短期】 基本的な英文でのやり取りを増やし、繰り返し学習させることで基本的な知識を定着させる。</p> <p>【中・長期】 自ら考え発言する場面をより多く設定し、主体性を高め、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。</p>
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2年次の基本的な文法、語句の知識が定着していない生徒がいる。 ・ 個々の学習項目は理解していても、他の項目と混乱してしまうことがある。知識を様々な場面で活用する力が弱い。 	<p>【短期】 目標とする言語材料を使った基本文を繰り返し練習し、定着をはかる。毎時間の帯活動として練習を組み込む。</p> <p>【中・長期】 単元のまとまりごとに、4技能を統合して活用する言語活動を設定する。覚えてから使うだけでなく、使いながら覚える体験をさせる。</p>